

疾病対策課

V 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化をはかっている。

1 結核予防事業

平成 30 年の結核患者の新登録患者数は 95(前年 91)人、罹患率(人口 10 万対)は 11.7(前年 11.3)であった。なお、肺結核のうち塗抹陽性患者の占める割合は 31.7(前年 42.7)%とやや減少した。(表 1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 18 条に基づく就業制限通知が 38(前年 46)件、同法第 19 条及び第 20 条に基づく入院勧告が 113(前年 159)件、同法第 37 条の 2 に基づく医療費公費負担診査が 188(前年 227)件であった。(表 1-(10)、(11))

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS 支援員の派遣、薬局 DOTS の実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。

平成 19 年 4 月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は 2 類感染症とされたが、本事業年報では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

2 感染症予防事業

平成 30 年は、感染症法に基づく 1 類・2 類(結核は除く)感染症の発生はなく、3 類感染症は 23 人(前年 36 人)、4 類感染症は 21 人(前年 6 人)、5 類感染症(全数把握対象分)の発生は 297 人(前年 96 人)であった。

平成 28 年度に当管内で麻しんのアウトブレイクがあったが、平成 30 年度新たに麻しん患者が 19 人となるアウトブレイクがあった。患者調査、麻しん疑い者への検査を実施し、更に接触者への調査は保健所が実施したものだけでも約 1,500 件を超えた。また、シンポジウム、研修会、感染症情報で麻しん対応について周知をはかった。

7 月下旬からは風しん患者が急増し、71 件の発生届出があった(前年 1 件)。また、医療機関からの麻しん、風しん検査の依頼が 297 件あり調査及び衛生研究所へ検体を搬入した。

感染性胃腸炎の施設内集団発生の現地調査・指導件数は 23 件(前年度 23 件)、相談対応件数は 27 件(前年度 35 件)であった。乳幼児施設・学校・高齢者施設等で発生し、検便等疫学調査及び感染拡大防止について継続支援をした。(表 2-(7)-オ)

平常時対策として、医療機関の立入検査、介護老人保健施設の実地指導の際等に、施設内感染対策の視点から助言・指導を実施した。また、医療機関を対象に研修会を開催し、院内感染対策に関して周知徹底を図った。高齢者施設や

乳幼児施設に対しても研修会を開催し、施設内感染症対策の周知を図った。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成24年8月から『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を運用し、感染症発生状況、法改正の情報等を発信している。

感染症健康危機管理事業としては、事案の発生に備え、県内関係各機関との連絡体制を確認するとともに、県疾病対策課主催の感染症患者移送に係る合同実地訓練に参加し、連携を深めた。

地域においては、新型インフルエンザ等感染症発生時の体制整備のため、病院及び診療所において地域感染期の訓練を実施するとともに、新型インフルエンザ等地域医療委員会・新型インフルエンザ等医療体制講演会を開催し、情報共有を図った。

また、各市、消防及び警察との情報交換会を開催し、情報共有、連携強化を図っている。

所内では、患者発生時に備えて必要物品や所内体制を確認し、全職員を対象に、防護服着脱訓練、N95 マスクフィットテストを実施した他、車いす型アイソレーター使用による感染症患者の移送訓練を行った。

3 エイズ対策事業

HIV 検査は即日検査（日中）及び夜間検査で実施し、平成30年度は327件であった（表3-(3)）。同時に梅毒・クラミジア検査、肝炎対策事業として肝炎検査を実施している。

エイズ予防啓発事業としては、管内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の保健主事及び、養護教諭、保健体育教諭等を対象として、講習会を2回開催した。講習会は、『『性感染症』 その中の梅毒とHIV/AIDSについて』、『SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）と青少年をめぐる性の問題について』というテーマで、エイズ対策に関する啓発に努めた。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳交付者に対し各種手当を支給し、被爆者の定期健康診断を年2回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成 10年	平成 15年	平成 20年	平成 25年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
区分								
管内人口		461,126	472,728	773,899	781,040	796,479	804,619	810,950
新登録患者数		112	117	142	113	102	91	95
年末時登録者数		322	237	461	285	241	251	247
結核死亡者数	管内	4	2	7	3	7	7	3
	千葉県	80	87	49	85	71	75	82
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.9	0.4	0.9	0.4	0.9	0.9	0.4
	千葉県	1.6	1.7	0.9	1.4	1.3	1.4	1.6
罹患率 (人口10万対)	管内	24.3	24.7	18.3	14.5	12.8	11.3	11.7
	千葉県	23.4	22.8	17.7	14.8	14.2	11.9	12.0
有病率 (人口10万対)	管内	25.2	22.2	12.5	8.3	8.7	7.2	6.7
	千葉県	27.7	21.3	14.1	9.5	9.1	7.4	7.7

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③平成19年以前のデータは、管轄区域：松戸市のみ。

④新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

⑤罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	活動性結核						罹 患 率 (人 口 10 万 対)	肺 結 核 の 陽 性 の 割 合 (%)	肺 結 核 の うち の 潜 在 性 結 核 感 染 症 (無 症 状 病 原 体 保 有 者)	疑 似 症 患 者	結 核 死 亡 者 体	結 核 死 亡 疑 い 者 体	
	総 数	活動性肺結核											肺活 外動 結核 性
		計	陽 咳 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の	そ 菌 の 陰 他 性							
平成28年	102	75	26	33	16	27	12.8	34.7	52	-	-	-	
平成29年	91	75	32	34	9	16	11.3	42.7	86	-	2	-	
平成30年	95	73	23	32	18	22	11.7	31.7	67	-	-	-	
(うち外国籍)	(12)	(11)	(-)	(3)	(8)	(1)	-	-	(3)	-	-	-	
松戸市	57	45	13	20	12	12	11.6	28.9	52	-	-	-	
流山市	24	17	8	6	3	7	12.7	47.1	8	-	-	-	
我孫子市	14	11	2	6	3	3	10.7	18.2	7	-	-	-	

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	総 数	活動性結核					不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人 口 10 万 対)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別掲)	
		計	活動性肺結核			肺活 外動 結核 性				治 療 中	観 察 中
			陽 咳 痰 塗 性 抹 時	結 核 菌 陽 性 の 時	そ の 他 の 時						
平成28年	241	69	21	24	7	17	136	36	8.7	25	140
平成29年	251	58	20	21	7	10	179	14	7.2	40	110
平成30年	247	43	14	15	14	11	183	10	6.7	38	111
松戸市	153	28	8	10	10	7	111	7	7.1	30	77
流山市	62	10	5	2	3	4	46	2	7.4	5	21
我孫子市	32	5	1	3	1	-	26	1	3.8	3	13

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1 - (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 28 年		102	-	1	13	5	18	8	13	13	19	12
平成 29 年		91	-	-	9	8	14	13	7	14	17	9
平成 30 年		95	-	-	11	8	3	13	11	19	18	12
(うち外国籍)		(12)	(-)	(-)	(9)	(2)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)
松戸市		57	-	-	9	5	3	7	8	11	7	7
流山市		24	-	-	1	2	-	4	1	5	8	3
我孫子市		14	-	-	1	1	-	2	2	3	3	2

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1 - (5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 28 年		241	-	2	23	17	38	29	32	40	45	15
平成 29 年		251	-	1	26	21	39	31	29	41	48	15
平成 30 年		247	-	-	29	21	29	30	32	43	43	20
松戸市		153	-	-	25	12	18	20	22	27	21	8
流山市		62	-	-	3	8	8	7	6	10	14	6
我孫子市		32	-	-	1	1	3	3	4	6	8	6

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)														
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性				潜在性結核				
				入院時			退院後			訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	
				訪問 回数	左の内訳		訪問 面接	所内 面接	電話・ その他									薬 局
初 回	期 間 内	退 院 前																
平成28年	保健師	3	156	32	94	30	150	80	80	-	62	90	34	-	36	60	24	-
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	-	-	80	-	-	-	290	-	-	-	216	-
	薬局	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
平成29年	保健師	3	195	40	120	35	175	87	118	-	81	108	140	-	30	50	20	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	33	-	59	-	2	-	150	-	33	-	350	-
	薬局	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	65
平成30年	保健師	3	144	31	89	24	117	116	144	-	53	142	178	-	22	66	30	-
	DOTS 支援員	5	-	-	-	-	40	1	70	-	40	1	70	-	30	-	80	-
	薬局	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	71
平成30年 患者数 (人)			23						72				48					

※潜在性結核の患者数は、内服治療を希望しなかった登録者を除く

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺結核患者 (再掲)		
					肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)	
平成28年	実施者数	101	75	30	45	
	患者数※	104	77	30	48	
平成29年	実施者数	95	77	35	72	
	患者数※	95	77	35	72	
平成30年	実施者数	81	71	20	85	
	患者数※	81	71	20	85	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供) を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エックス線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	131	127	96.9	232	84	1	145	1	1	113	-	12	2	1.6
平成 29 年	118	116	98.3	212	83	2	127	-	-	99	3	12	2	1.7
平成 30 年	75	72	96.0	129	56	-	73	-	-	69	-	2	1	1.4
保健所	/			61	27	-	34	-	-	/				
委託分				62	29	-	33	-	-					
その他				6	-	-	6	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エックス線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	969	937	96.7	1,306	574	4	722	3	3	828	78	27	4	0.4
平成 29 年	962	933	97.0	1,239	787	66	372	8	6	877	12	44	-	-
平成 30 年	485	459	94.6	668	348	7	313	-	-	425	5	29	-	-
保健所	/			356	211	-	145	-	-	/				
委託分				260	135	7	118	-	-					
その他				52	2	-	50	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理検診実施状況

表1-(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施 率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エ ッ ク ス 線 撮 影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗 抹	培 養	観 察 不 要	経 過 観 察	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
平成 28 年	352	317	90.1	395	395	-	-	306	10	1	0.3
平成 29 年	300	283	94.3	449	435	7	7	274	7	2	0.7
平成 30 年	335	311	92.8	549	484	33	32	285	21	5	1.6
保 健 所	/			105	105	-	-	/			
委 託 分				160	95	33	32				
そ の 他				284	284	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総 数			被用者保険						国民健康 保 険			後期高齢者			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族			諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格
	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格												
平成 28 年	231	231	-	44	44	-	18	18	-	73	73	-	89	89	-	6	6	-	1	1	-
平成 29 年	227	226	1	82	82	-	11	11	-	54	54	-	67	66	1	12	12	-	1	1	-
平成 30 年	188	188	-	57	57	-	8	8	-	49	49	-	62	62	-	11	11	-	1	1	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総 数	被用者保険			国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族					
平成 28 年	41	7	2		10	21	1	-
平成 29 年	45	9	1		10	21	3	1
平成 30 年	38	5	1		6	18	7	1

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

年 \ 区分	総数
平成28年	40
平成29年	46
平成30年	38

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

年 \ 区分	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成28年	41	40	53
平成29年	44	43	72
平成30年	35	33	45

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

年 \ 区分	入院措置数
平成28年	1
平成29年	—
平成30年	—

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成28年	-	5	2	3	-	5	-	-
平成29年	-	67	29	38	-	67	-	-
平成30年	-	7	7	-	-	7	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成28年	477	180	589	23	44	1
平成29年	487	380	763	51	52	1
平成30年	238	164	354	12	35	1

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成28年	480	381	402	340	78	41
平成29年	342	219	240	174	102	45
平成30年	284	246	179	151	105	95

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1 - (14) 定期結核健康診断実施報告状況

年 区分	項目		対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見 数③	患者発見 率 ③/② (%)
平成 28 年			242,477	81,059	33.4	14,892	66,167	3	3	5	0.006
平成 29 年			251,988	86,564	34.4	8,982	77,582	13	5	4	0.005
平成 30 年			253,222	85,226	33.7	7,017	78,209	20	3	1	0.001
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)		11,083	11,021	99.4	1,857	9,164	1	-	1	0.009
	施設 長	福祉施設入所者 (65歳以上)	3,522	3,383	96.1	1,174	2,209	2	-	-	-
		その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者		28,454	26,756	94.0	3,986	22,770	17	-	-	-
	市町村長		210,163	44,066	21.0	-	44,066	-	3	-	-

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成28年	19	—	—	19	—	—
平成29年	36	—	—	36	—	—
平成30年	23	—	2	20	1	—
松戸市	12	—	2	10	—	—
流山市	4	—	—	3	1	—
我孫子市	7	—	—	7	—	—
その他 (管外)	—	—	—	—	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症発生状況

(単位:人)

疾患名	平成28年	平成29年	平成30年
1 E型肝炎	-	-	2
2 ウエストナイル熱	-	-	-
3 A型肝炎	-	-	1
4 エキノコックス症	-	-	-
5 黄熱	-	-	-
6 オウム病	-	-	-
7 オムスク出血熱	-	-	-
8 回帰熱	-	-	-
9 キャサヌル森林病	-	-	-
10 Q熱	-	-	-
11 狂犬病	-	-	-
12 コクシジオイデス症	-	-	-
13 サル痘	-	-	-
14 ジカウイルス感染症	-	-	-
15 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16 腎症候性出血熱	-	-	-
17 西部ウマ脳炎	-	-	-
18 ダニ媒介脳炎	-	-	-
19 炭疽	-	-	-
20 チグングニア熱	-	-	-
21 つつが虫病	1	-	-
22 デング熱	1	1	-
23 東部ウマ脳炎	-	-	-
24 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25 ニパウイルス感染症	-	-	-
26 日本紅斑熱	-	-	-
27 日本脳炎	-	-	-
28 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29 Bウイルス病	-	-	-
30 鼻疽	-	-	-
31 ブルセラ症	-	-	-
32 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34 発しんチフス	-	-	-
35 ボツリヌス症	-	-	-
36 マラリア	1	1	-
37 野兔病	-	-	-
38 ライム病	-	-	-
39 リッサウイルス感染症	-	-	-
40 リフトバレー熱	-	-	-
41 類鼻疽	-	-	-
42 レジオネラ症	16	4	18
43 レプトスピラ症	-	-	-
44 ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
1	アメーバ赤痢	14	8	12
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	-	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	3	6
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			2
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	10	18	27
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	-
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	7	4
9	後天性免疫不全症候群	13	13	20
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	4
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	29	20	26
14	水痘(入院例に限る。)	1	2	5
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	29	18	27
17	播種性クリプトコックス症	2	2	1
18	破傷風	-	1	-
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
21	百日咳			73
22	風しん	-	1	71
23	麻しん	16	-	19
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※ 4の疾患は平成30年5月1日より届出の対象となった。

※21の疾患は平成30年1月1日より届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
25	16	5	6	1	43

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾 患 名	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	11,811	11,559	12,148
2	RS ウイルス感染症	511	731	445
3	咽頭結膜熱	452	441	605
4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3,071	3,165	2,900
5	感染性胃腸炎	7,176	4,627	3,617
6	水痘	427	273	368
7	手足口病	1,107	1,521	451
8	伝染性紅斑	95	36	490
9	突発性発しん	451	419	378
10	百日咳	4	3	報告対象外
11	ヘルパンギーナ	710	388	557
12	流行性耳下腺炎	775	138	72
13	急性出血性結膜炎	6	3	3
14	流行性角結膜炎	162	138	156
15	性器クラミジア感染症	158	142	139
16	性器ヘルペスウイルス感染症	88	101	68
17	尖圭コンジローマ	33	23	36
18	淋菌感染症	38	35	19
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	9	1
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	1	4	2
22	マイコプラズマ肺炎	98	17	17
23	無菌性髄膜炎	15	4	11
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0	5
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	40	34	51
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0	0

※「10 百日咳」は5類感染症の定点把握疾患であったが、平成30年1月1日から5類の全数把握疾患となったため、平成30年は「報告対象外」と記載した。

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	3	1	-	1
検体提供数 (件)	35	11	-	1

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 28 年度	216	3,317	201	14	1	-
平成 29 年度	122	4,579	486	25	4	-
平成 30 年度	189	2,932	162	27	-	-
幼 稚 園	16	154	14	2	-	-
小 学 校	148	2,350	130	18	-	-
中 学 校	24	423	17	7	-	-
高等学校	-	-	-	-	-	-
そ の 他	1	5	1	-	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表 2 - (7) - ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人), 検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成 28 年度	16	67	-	-	-	-	15	65	1	2	-	-	1
平成 29 年度	44	213	-	-	2	36	42	177	-	-	-	-	36
平成 30 年度	23	115	-	-	-	-	22	109	1	6	-	-	18

エ 4類感染症

表 2 - (7) - エ 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成 30 年度	E 型肝炎	6
	A 型肝炎	1
	レジオネラ症	19

オ 5類感染症

表 2 - (7) - オ 5類感染症健康調査状況

(単位：件)

区分	疾患名	調査
平成 30 年度	感染性胃腸炎	調査 23 件・相談対応 27 件
	インフルエンザ	相談対応 95 件
	麻疹	調査 19 件 (接触者対応 1,534 件)
	風疹	調査 97 件

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表 2 - (8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成 28 年度	17	17	-	-	17	-	-	-	-
平成 29 年度	4	4	-	-	2				
平成 30 年度	5	5	-	-	10	-	-	-	-

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表 2 - (9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区 分	疾 患 名	依頼数	内 訳
		麻しん風しん疑い	297
	蚊媒介感染症	1	陰性 1
	E 型肝炎	3	陽性 2 陰性 1
	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症	7	メロペネム感性検査実施および、 カルバペネマーゼ遺伝子検査実施
	急性脳炎	20	陽性 12、陰性 8

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表 2 - (10) 就業制限通知数

(単位：件)

区分 年度	疾 患 名			計
	細菌性赤痢	腸管出血性大腸 菌感染症	腸チフス	
平成 28 年度	-	14	-	14
平成 29 年度	2	38	-	40
平成 30 年度	-	22	1	23

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会実施状況

表2-(11)-ア 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施 対象	参加人数 (人)
平成30年 8月20日	東葛飾合 同庁舎6 階第1 会議室	<p><u>感染症予防対策研修会（新規保育施設）</u></p> <p>講義「感染症の基礎知識」 講師 松戸保健所 疾病対策課 日野浦</p> <p>(1)講演 「やってみよう！～オムツ交換」 デモンストレーション 野田市保育課 金安 佳子氏 富山 れいこ氏</p> <p>(2)グループワーク おむつ交換、嘔吐処理について5つのグループに分かれて演習実施。</p>	管内保育所・小規模保育事業所・認可外保育所・認定こども園・幼稚園・障害児通園施設等の職員 (看護師・保健師)、市担当職員等	36
平成30年 8月21日	東葛飾合 同庁舎6 階第1 会議室	<p><u>感染症予防対策研修会（保育施設）</u></p> <p>1 講義「感染症ステップアップが施設を変える」 講師 千葉感染制御研究所代表 柴田 幸治</p> <p>2 報告「保育現場における指導方法の実際について」 松戸市 八柱保育所 宮本 恭子 氏 流山市 向小金保育所 太田 みゆき 氏 我孫子市 つくし野保育園 坂井 幸代 氏</p> <p>3 報告 「感染症対応ワーキンググループによる巡回指導のポイント」 講師 野田市保育課 金安 佳子氏 富山 れいこ氏</p> <p>※実際に保育所巡回訪問時に使用しているチェックリストについて</p>	管内保育所・小規模保育事業所・認可外保育所・認定こども園・幼稚園・障害児通園施設等の職員 (看護師・保健師)、市担当職員等	77

平成30年 9月13日	東葛飾合 同庁舎6 階第1 会議室	<u>感染症予防対策研修会（高齢者施設）</u> (1)報告 「管内の感染症発生状況」 報告者：松戸保健所疾病対策課感染症担当 (2)実践報告 「当施設におけるノロウイルスによる 感染性胃腸炎アウトブレイクの経験の報告」 介護老人保健施設クレオ 感染対策委員長 須藤 美子 氏 (3)実践報告 「インフルエンザの流行後 迅速に探知する ためのサーベイランスの強化」 あずみ苑グランデ常盤平 施設長 木村 勇吉氏	管内高齢者福祉施設等の職員(通所介護事業所・通所リハビリ事業所・短期入所生活介護事業所・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・小規模多機能型居宅介護事業所、グループホーム・有料老人ホーム等)市担当職員	40
平成31年 2月28日	東葛飾合 同庁舎6 階第1 会議室	<u>医療機関における感染症対策研修会</u> 1 講演 「医療機関における薬剤耐性（AMR）対策」 講師 松戸市立総合医療センター 院内感染対策室 感染管理認定看護師 秋山 純子氏 2 講演 「耐性菌の現状と医療現場における実践的 対策」 講師 国際医療福祉大学医学部感染症学講座 主任教授 松本 哲哉 氏	管内病院・有床診療所・助産所・医師会・薬剤師会 歯科医師会、歯科医療機関、訪問看護ステーション	75
平成30年 5月17日	松戸市役所 別館 地下1 階 研修室	<u>第1回 感染症対策委員会（松戸市）※</u> (1)市の感染症対策と発生状況について 松戸健康福祉センター センター長 (2)公共施設の感染対策について (3)新型インフルエンザ等対策マニュアルの一部改訂について (4)情報交換、その他	松戸市感染症対策委員会	39
平成30年 6月13日	松戸市民劇場 ホール	<u>給食施設衛生研修会※</u> 講義 「給食従事者の健康管理について」	給食施設管理者・従事者	191

平成 30 年 9 月 28 日	松戸市民 会館 大 ホール	<p>平成 30 年度地域福祉セミナー</p> <p style="text-align: center;"><u>感染症から命を守ろう！</u></p> <p>※社会福祉法人松戸市社会福祉協議会主催</p> <p>○第 1 部 基調講演</p> <p>I テーマ 「感染症全般（麻しん、季節性インフルエンザ等）」</p> <p>II テーマ「新型インフルエンザ対応と国際感染症」</p> <p>○第 2 部</p> <p style="text-align: center;">シンポジウム「松戸市の感染症の現状と対策」</p> <p style="text-align: center;">コーディネーター 疾病対策課 佐藤千里</p>	<p>本会役員・評議員、 地区社協関係者、民 生委員・児童委員、 町会・自治会関係 者、障がい者団体・ 福祉団体関係者、行 政関係者、一般参加 者等</p>	494
平成 31 年 1 月 31 日	松 戸 市 役 所 新館 7 階 大 会 議 室	<p>第 2 回 感染症対策委員会（松戸市）※</p> <p>(1) 松戸保健所管内における麻しんの流行について</p> <p>① 講和「麻しんアウトブレイクの対応の実際」 講師 松戸健康福祉センター センター長</p> <p>② 松戸市の対応について</p> <p>③ 今後の対応方法等についての意見交換</p> <p>(2) 感染症に関する情報交換等</p> <p>① 平成 30 年度松戸市感染症対策委員会連絡 訓練の結果について</p> <p>② 市内のインフルエンザの発生状況等について</p>	<p>松 戸 市 感 染 症 対 策 委 員 会</p>	56

※は、他機関または他課主催

イ 流山市保育課は、流山市内の保育所における感染対策のレベルアップを目的とする流山市保育所感染対策事業の一環として、「N-N I C T（流山市保育所感染制御チーム）」を平成 29 年 10 月 5 日に立ち上げた。保健所としては、N-N I C T 立ち上げに際し、研修会を実施し、感染対策に関する助言・指導を行った。立ち上げ後には、感染症マニュアル作成の手引きの改訂に伴う助言等を行い、流山市内の保育施設の感染対策の向上に向け支援している。

ウ 院内感染対策に関する指導

医療施設立入検査 38（病院 31、有床診療所 6 施設、助産所 1）施設の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。

エ 社会福祉施設・学校等への感染対策の指導

介護老人保健施設 5 施設に対し、監査指導課に随行し、感染症対策に関して実地指導を行った。また、感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を実施した。

オ 松戸保健所感染症情報ネットワークシステム

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸健康福祉センター（松戸保健所）と、関係機関の連携強化を図るため『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を構築し、平成 24 年 8 月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を月 1 回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、随時で配信している。当初の登録機関は 125 件であったが、周知啓発により平成 30 年度末には 665 件の登録となった。平成 29 年度の感染症情報配信は、定期配信 12 回、随時配信は 40 回（表 2 - (1 1) - イ）であった。

表 2 - (1 1) - イ 感染症情報 随時配信状況

配信日	内容
平成 30 年 4 月 2 日	沖縄県内での麻しん患者発生について
平成 30 年 4 月 5 日	沖縄県内での麻しん患者発生について
平成 30 年 4 月 10 日	東京都北区での麻しん患者発生について
平成 30 年 4 月 13 日	沖縄県における麻しん患者発生について 名古屋市における麻しん患者の発生について
平成 30 年 4 月 16 日	茨城県に関する麻しん患者の発生について 沖縄県に関する麻しん患者の発生について
平成 30 年 4 月 18 日	国立感染症研究所より「麻しん風しん混合（MR）ワクチン接種の考え方」、「可能な限り早めのMRワクチン接種が推奨される者」が公開
平成 30 年 4 月 24 日	麻しんの発生について 海外旅行での感染症に注意
平成 30 年 4 月 27 日	沖縄県内での麻しん患者発生について
平成 30 年 5 月 16 日	【千葉県】麻しん患者の発生について
平成 30 年 6 月 30 日	松戸保健所管内麻しん患者発生について 富里市麻しん患者発生について
平成 30 年 7 月 1 日	松戸保健所管内麻しん報道発表について
平成 30 年 7 月 26 日	松戸保健所管内風しん患者発生について
平成 30 年 8 月 14 日	松戸保健所管内医療機関より風しん患者発生について（3 件）
平成 30 年 9 月 14 日	風しん流行期に伴い、風しん（疑い）対応変更について

平成 30 年 9 月 26 日	松戸保健所管内麻しん患者発生について
平成 30 年 10 月 7 日	松戸保健所管内麻しん患者発生について (2 件)
平成 30 年 10 月 9 日	松戸保健所管内麻しん報道発表について
平成 30 年 10 月 10 日	麻しん対策会議の開催について
平成 30 年 10 月 15 日	松戸保健所管内で発生している麻しんについて
平成 30 年 10 月 17 日	松戸保健所管内で発生している麻しんについて
平成 30 年 10 月 22 日	松戸保健所管内で発生している麻しん及び感染性胃腸炎の集団発生について
平成 30 年 10 月 26 日	松戸保健所管内で発生している麻しん及び感染性胃腸炎の集団発生について
平成 30 年 10 月 29 日	麻しん (はしか) の発生について
平成 30 年 10 月 29 日	松戸保健所管内で発生している麻しん及び感染性胃腸炎の集団発生について
平成 30 年 10 月 31 日	第 2 回麻しん対策会議の開催について
平成 30 年 11 月 19 日	松戸保健所管内麻しん報道発表について
平成 30 年 12 月 25 日	麻しんアウトブレイク終息について 麻しんシンポジウムの開催について
平成 31 年 1 月 16 日	インフルエンザ警報の発令について
平成 31 年 2 月 13 日	【千葉県】麻しん患者の発生について
平成 31 年 2 月 15 日	大阪府から感染が拡大している麻しんに関するの発表について
平成 31 年 2 月 15 日	【千葉県】麻しん患者の発生について
平成 31 年 2 月 15 日	千葉市から麻しん患者の発生について
平成 31 年 2 月 19 日	千葉県の麻しん患者増加に伴い厚生労働省及び千葉県より注意喚起
平成 31 年 2 月 22 日	茨城県で麻しん患者発生の報道発表
平成 31 年 2 月 25 日	【千葉県】麻しん患者の発生について
平成 31 年 2 月 25 日	【千葉県】麻しん患者の発生について
平成 30 年 2 月 26 日	川崎市から麻しん患者の発生について
平成 30 年 2 月 27 日	【千葉県】麻しん患者の発生について
平成 30 年 3 月 12 日	【千葉県】麻しん患者の発生について
平成 30 年 3 月 15 日	【千葉県】麻しん患者の発生について

(12) 感染症健康危機管理事業

ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会

表2-(12)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催月日	出席者数	主な協議内容
平成30年9月20日	37機関 66名	<u>I部 会議</u> 議題 医療機関における県内感染期の対応 (1) 『新型インフルエンザ等発生時の医療提供体制について』 (2) 新型インフルエンザ等対応訓練報告 診療所 わざクリニック 病院 名戸ヶ谷あびこ病院 (3) その他 <u>II部 講演会</u> 『新興・再興感染症への備え ～マスギャザリングイベントを控えて～』 講師 防衛医科大学校 防衛医科学研究センター 加来 浩器 教授
平成30年9月20日	86名 (委員含)	講演『新興・再興感染症への備え ～マスギャザリングイベントを控えて～』 講師 防衛医科大学校 防衛医科学研究センター 加来 浩器 教授

イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議

表2-(12)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議実施状況

開催月日	参加者数	内容
平成30年6月26日	11機関 35名	平成30年度感染症に関する情報交換会(市・消防・警察・保健所) (1) 訓練 1) 防護服着脱訓練 2) 患者移送訓練 ・移送前のミーティング ・防疫車への患者乗降 ・移送中の連絡 ・防疫車(運転席)の視界確認 ・消毒 (2) 意見交換
平成30年8月14日	7機関 28名	平成30年度新型インフルエンザ等対応訓練(わざクリニック) 県内発生期におけるトリアージ及び診療等対応訓練、反省会
平成30年8月30日	25機関 95名	平成30年度新型インフルエンザ等対応訓練 (名戸ヶ谷あびこ病院) 県内発生期におけるトリアージ及び診療等対応訓練、反省会

ウ 麻しん関連会議

表 2 - (1 2) - ウ 管内での麻疹患者発生に伴う関係機関会議等

開催月日	出席者数	内 容
平成30年10月11日	3 機関 22 名	第 1 回 麻しん対策会議 麻疹発生時の診療所における診療体制について
平成30年11月1日	90 機関 139 名	第 2 回 麻しん対策会議 管外での麻しん症例についての情報共有等
平成31年1月22日	79 機関 151 名	「麻しん対策シンポジウム」 麻しん対策の検証 ～オリンピック・パラリンピックを見据えて～

エ 所内における感染症健康危機管理に関する研修会・訓練

表 2 - (1 2) - エ 所内研修会・訓練実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	参加人数 (人)
平成 30 年 4 月 16 日 4 月 19 日 4 月 24 日	松戸保健所 会議室	感染症についての講話 AED 操作 N95 マスクのフィットテスト 防護服等着脱訓練	66
平成 30 年 6 月 26 日	東葛飾合同 庁舎駐車場	エボラ出血熱患者移送訓練 (車いす型アイソレーター使用による 感染症患者の移送訓練)	35

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成30年8月6日	東葛飾 合同庁舎 6階 第1会議室	講習会	「『性感染症』 その中の梅毒と HIV/AIDSについて」 講師：千葉大学医学部附属 病院 感染症内科 講師 谷口 俊文氏	管内小学校・ 中学校・高等 学校・特別支 援学校の保健 主事・養護教 諭・保健体育 教諭、各市保 健師、助産師 等	50
平成30年8月24日	東葛飾 合同庁舎 6階 第1会議室	講習会	「SNS（ソーシャルネッ トワーキングサービス）と 青少年をめぐる性の問題に ついて」 講師：東京経営短期大学 特任准教授 少年問題アナリスト 上條 理恵氏	管内小学校・ 中学校・高等 学校・特別支 援学校の保健 主事・養護教 諭・保健体育 教諭、各市保 健師、助産師 等	37

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成30年 11月27日～ 12月7日	啓発のため、エイズ・STD 予防啓発グッズ等を配布。 【配布物】HIV 検査啓発ポケットティッシュ（1500個）、パンフレット「みんな知ってる？STI」（1500部）、ストップエイズ啓発「チーバくんクリアファイル」（1500個） 【配布先】新京成線松戸駅・八柱駅、流鉄流山線沿線全6駅、北総線東松戸駅、流山市公立中学校

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成28年度		電話相談	29	14	43	46
		来所相談	3	0	3	
		その他	0	0	0	
平成29年度		電話相談	17	11	28	31
		来所相談	3	0	3	
		その他	0	0	0	
平成30年度		電話相談	32	20	52	72
		来所相談	14	6	20	
		その他	0	0	0	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位：件)

年度 年齢階級	性別	男	女	合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
平成28年度		245	129	374	3	4
平成29年度		264	133	397	9	3
平成30年度		229	98	327	6	7
年齢 階 級	～19歳	4	6	10	2	0
	20歳～29歳	60	39	99	2	2
	30歳～39歳	72	29	101	1	4
	40歳～49歳	54	13	67	1	1
	50歳～59歳	27	6	33	0	0
	60歳～69歳	9	4	13	0	0
	70歳～	3	1	4	0	0
	不明	0	0	0	0	0

表3-(3) -イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位：件)

検査 性別	クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
							C型肝炎検査			B型肝炎検査		
年 度	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 28 年度	308	210	98	363	235	128	370	241	129	369	240	129
平成 29 年度	306	216	90	392	261	131	388	256	132	391	259	132
平成 30 年度	278	201	77	329	230	99	334	234	100	334	234	100

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査，それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4-(1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新 規	転 入	転 出	死 亡	当該年度末 手帳交付数
平成 28 年度		336	-	1	2	21	314
平成 29 年度		314	-	5	2	17	300
平成 30 年度		300	-	5	4	10	291
松戸市		176	-	3	1	6	172
流山市		72	-	-	-	2	70
我孫子市		52	-	2	3	2	49

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4-(2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施 設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成 28 年度	保健所	前期	328	21	6.4	0
		後期	324	22	6.8	0
	委託医療機関		-	107	-	42
平成 29 年度	保健所	前期	310	27	8.7	0
		後期	294	18	6.1	0
	委託医療機関		-	100	-	48
平成 30 年度	保健所	前期	304	21	6.9	2
		後期	295	13	4.4	0
	委託医療機関		-	103	-	51

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総数	279	266	252
医療特別手当	16	12	12
特別手当	3	7	7
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健康管理手当	226	213	207
保健手当	15	16	15
介護手当	2	3	2
葬祭料	17	15	9
健康手当	245	232	226

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。